

童謡から紐解く春夏の色：ヘルシンキからの便り

手塚 千尋

2026年4月より、所属大学のサバティカルを利用してフィンランドのヘルシンキに滞在しています。5月、雲ひとつない青空から真夏のような日差しが降り注いでいますが、朝の気温は依然10℃を下回ることも珍しくありません。それでも5月中旬になり、ようやくウールのコートを手放せるようになりました。長い冬を乗り越えた街は今、溢れる光と活気に満ち溢れています。

5月1日の「Vappu（ヴァップ）」を皮切りに、牛の放牧祭や桜公園での花見など、春を祝う行事が続きます。冬季閉鎖されていた遊園地やサウナも再開し、街角にはイチゴやベリーのポップアップショップが姿を現しました。数日前までわずかに芽吹いていた若緑がぐんと背を伸ばし、閉ざされていた蕾が一斉に開き、色づいていく。その様子を眺めていると、人間も自然もこの季節の訪れを心から祝福しているのだと感じます。

こうしたフィンランドの風物詩と色彩を紐づけたのが、「Väriarvoituksia（色のなぞなぞ）」という童謡です（作曲：ソイリ・ペルキオ／作詞：ハンネレ・フオヴィ、1996年）。幼児の色彩学習を目的とした歌でありながら、詩的な歌詞と情感豊かなメロディは、一編の物語のような美しさを湛えています。歌は「Leskenlehti, aurinko, värin arvasitko jo?（フキタンポポに太陽、これは何色？）」という問いかけで始まります。登場するのは、フィンランドの暮らしを彩る8つの色です。



ヘルシンキの空

黄色：フキタンポポ、太陽
緑：若草、白樺の葉
青：空、ブルーベリー
赤：イチゴ
灰色：ねずみ、毛糸の靴下、
おばあちゃんのふわふわの髪
オレンジ：外国産の上品なオレンジ
黒：ワタリガラスの羽、石炭、煤（すす）
白：雪の鳥、雲の羊、ぬいぐるみのくまの歯



白樺の幹と葉

ここで描かれるのは、人々が日常のなかで愛でている風景そのものです。その素朴で鮮やかな描写は、さながら『枕草子』で語られた四季の「をかし」のようにも響きます。もし「日本版・色のなぞなぞ」をつくるとしたら、皆様はどのような事物を当てはめるでしょうか。色の選定や順番、そこから広がるイメージなど、皆様の色彩にまつわるエピソードをぜひ伺ってみたいと思います。

手塚 千尋（明治学院大学 准教授）

今回のトピック プロダクトデザインと色 Part2 -CMFを思考する-

第15号は、「プロダクトデザインと色」のPart2として、第7回でも執筆いただいたCMFデザイナーの安岡義彦さんに、「CMFを思考する」という視点にてお願いしました。安岡さんには色いろサロン第15回にもご登壇いただき、トピックについてお話しいただく予定です。

「CMFデザインの高級表現と今後の方向性について」

安岡 義彦

高級表現は、社会のヒエラルキーを共通認識する為に欠かせない記号でした。希少価値のある素材を採取、加工する高度な技術と費やす時間によって生み出された色とモノは、多くの人を魅了します。戦後も社会的成功を勝ち取った人々は、他者に優越を誇示する為にまた憧れを手に入れる自らの満足感を満たす為に高級表現を求めました。

しかし、今世紀は高級表現によって失われる資源と環境、不平等などが危惧されサステイナブル、エシカルであることが望まれ、有名高級ブランドは率先してそれらを実践しています。また、高級感も自己顕示するモノから自己充足するモノとコトに変化しているように思います。それでもモノとコトに充足する自分をSNSに上げてイイね！を求める承認欲求は、変わりません。はたしてこれからの人々の高級表現の行方は？

変化する高級、変わらない高級についてCMF視点で次回の「色いろサロン」で「高級車クラウン」を題材にして登壇させていただきますので是非皆様ご参加ください。

※昨年から日本色彩研究所主催のCMFセミナーに加えて頂き、今年は4回シリーズの「CMFアイデアLab」に登壇いたします。

第1回は、5月16日本稿と同タイトルの「CMFデザインの高級表現と今後の方向性について」でテーマ登壇後、参加各位とディスカッションすることでCMF思考を深めました。

次回は、7月11日「素材からの連想CMFとイメージ」が、開催されますので皆様是非ご参加ください。



昨年度のCMFセミナーの様子

CMFアイデアLab 詳細ページ

https://www.jcri.jp/seminar/seminar_detail/202605_cmf_seminar



プロフィール

安岡 義彦(ヤスオカ ヨシヒコ)

川島織物をはじめ、約40年インハウスCMFデザイン経験を活かしCMFデザイン研究発表、セミナー登壇、執筆多数。今年、CMFデザイン活動、関連団体連携強化の為に一般社団法人Color with Imageを立ち上げる。

1985年武蔵野美術大学卒、同大特別講師、東商及びAFT認定色彩講師、日本色彩学会及び日本色彩教育研究会会員。

趣味:ギター演奏(Blues, Jazz)

会員リレーコラム

子どもの感性と表現を共におもしろがる

子どもの表現という、私たちオトナはつい、「何をえがいたのか、つくったのか」「どんな作品ができたのか」という「結果」に目を向けがちです。例えば、砂を何度も握っては落とすことを繰り返す行為を楽しむ姿。絵の具の色が混ざっていくプロセスがおもしろくなり、色を繰り返しぬっていく姿。そこには、子どもが世界を感じ取り、心を動かし、自分なりに表そうとしている豊かなプロセスがあります。

私たちオトナは「この子は何を感じていたのだろうか」「何をおもしろがっていたのだろうか」という視点を持ち、子どもと共に感じ、共に驚き、共におもしろがる存在でありたいものです。



キュウリの絵 (Y幼稚園の4歳児クラス)

花原 幹夫 (ハナバラ ミキオ)
白梅学園短期大学名誉教授

第14回色いろサロンを開催しました

2026年3月27日(金)に、第14回となる『色いろサロン』を開催しました。「デザイン教育と色彩」をテーマとし、森香織さんにお話しいただきました。

<参加者からのご感想> (一部抜粋)

『森先生が授業で実践されている内容を、学生の実作品を拝見しながら詳しく伺わせていただけて大変興味深かったです。オストワルトシステムからPCCSへと導く流れが、自然でとてもわかりやすいと感じました。また、形の違いや、アクセントカラー・ドミナントカラーという色の違いを課したりすることで、学生たちの作品がユニークに展開していくのはとても楽しいと思いました。もっともっと作品を観てみたい!という気持ちになりました。』

『自分が選択することができなかった人生を垣間見ている気持ちです。本当にありがとうございます。』

『均等に段階的な色をつくる、といったところから基礎的な技術をしっかりと身に付けることで視覚効果の高い表現へとステップを重ねる流れが大変参考になりました。色を混ぜるときの丁寧さで発色も変わるというのは、PCでは中々味わえないものだと思います。』

第15回は6月26日(金) 20時より開催予定です。たくさんのご参加、お待ちしております。

オンラインセッション 第15回『色いろサロン』のご案内

Color Circleで取り上げたトピックに関連するオンラインセッション『色いろサロン』の第15回を開催いたします。今回はテーマを『プロダクトデザインと色 Part2 - CMFを思考する-』として、執筆者の方に話題提供をしていただきます。

『色いろサロン』では、登壇者の方へのご質問はもちろん、参加者同士で意見交換を行い、会員同士の交流ができる場にしていきたいと考えています。

視聴のみのご参加も大歓迎です。会員の皆様、並びに本研究会にご関心のある方々、奮ってご参加ください。

●日時：2026年 6月 26日（金） 20：00～21：00

●方法：ZOOM によるリアルタイム配信

●オンライントークの会の流れ

- ・ Color Circle vol.15のトピック執筆者によるお話
安岡義彦さん
名取初穂さん（司会）
- ・ トピックに関する質疑応答
- ・ 参加者全体、またはグループに分かれての意見交換

●参加費：

本研究会会員の方・・・無料

一般の方・・・1,000円

非会員のうち、学生で会員の紹介がある場合は無料

参加申込と同時にご入会いただいた場合は無料

●参加費のお振込先：

「郵便振替」「銀行振込」のいずれかよりお願いいたします。

郵便振替：00150-6-136277 色彩教育研究会

銀行振込：ゆうちょ銀行 〇一九（ゼロイチキュウ）店 当座 136277 色彩教育研究会

●お申し込み方法：以下のGoogle フォームからお申し込みください。

<https://forms.gle/C8pch1SXqeNTcVUSA>

参加申込・参加費納入期限：2026 年 6月 24 日（水）

⇒6月25日（木）に ZOOM の URL をお送りいたします。

※sikisaikyoiku@gmail.comからのメールが迷惑メールに分類されないよう、
設定をお願いいたします。

※6月25日中にメールが届かない場合は、恐れ入りますが、事務局まで
ご連絡をお願いいたします。

★こんなことを聞きたい、質問したい！等のご要望は、ぜひお申込フォームに
記載をお願いいたします！

お問い合わせ先：日本色彩教育研究会事務局（sikisaikyoiku@gmail.com）



日本色彩教育研究会HP <http://shikikyo.jp/index.html>

発行人：茂木一司

製作：Color Circle編集委員会

（名取初穂、島田由紀子、手塚千尋、中島千絵、宮野周、大内啓子、佐々木三公子）

